

1966~1967

吉村ガバナー公式訪問報告書



鹿児島西ロータリークラブ

1967. 2. 1

1966 - 67 年度目標

“ロータリーでよりよい世界を”

(A Better World Through Rotary)

リチャードL・エバンス R-I 会長

1. 新会員をふやすことによつて、ロータリーを分かち合うこと。
2. 新クラブを結成することによつて、ロータリーを分かち合うこと。
3. ロータリーの友好を享受すること。
4. 地域社会が必要とする事を見出し奉仕すること。
5. 各自の事業乃至専門的職業をより良くすること。
6. 青少年へ奉仕すること。
7. 効果的広報を推進すること。
8. ロータリーの国際性を強調すること。
9. 世界社会奉仕に参加すること。
10. ロータリー財団を支援すること。

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は尊ぶべき事業の基準として奉仕の理想を奨励且つ育成し、特に次の事項を奨励育成するにある。

1. 奉仕の一つの機会として、知り合いを拡めていくこと。
2. 職業上の高き道徳的基準；総ての有用な職業の価値あることの認識；そして社会に奉仕する好機としての各自の業務を各ロータリアンにより權威あらしめること。
3. 各ロータリアンは、その個人生活、職業生活、社会生活の別なく、常に之れに「奉仕の理想」を適用すること。
4. 「奉仕の理想」に結ばれた職業人の世界的親交によつて、国際間の理解と友情と平和とを促進すること。

1950年

1. 1950年1月1日現在の人口は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。

2. 1950年1月1日現在の人口は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。

3. 1950年1月1日現在の人口は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。

4. 1950年1月1日現在の人口は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。

5. 1950年1月1日現在の人口は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。

人口の増減

1. 1950年1月1日現在の人口は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。

2. 1950年1月1日現在の人口は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。

3. 1950年1月1日現在の人口は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。

4. 1950年1月1日現在の人口は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。

5. 1950年1月1日現在の人口は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。

6. 1950年1月1日現在の人口は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。

7. 1950年1月1日現在の人口は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。

8. 1950年1月1日現在の人口は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。

9. 1950年1月1日現在の人口は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。

10. 1950年1月1日現在の人口は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。増加の割合は、前年比で増加した。

資料の提供：国勢調査委員会

(Y. RICEI MOIPI JIPIKEM MOIPI.)

人口の増減

1950年1月1日現在の人口

目 次

クラブアツセンブリープログラム	1
役員並びに委員名簿	2
会 長 報 告	3
概 況 報 告	4
会 計 報 告	5
クラブサービス報告	5
出席奨励委員会報告	6
職業分類委員会報告	9
会員選考委員会報告	10
プログラム委員会報告	10
広報委員会報告	12
親睦委員会報告	13
ロータリー情報委員会報告	14
会報，雑誌委員会報告	15
S . A . A 報 告	15
職業奉仕委員会報告	16
社会奉仕委員会報告	17
青少年奉仕委員会報告	17
国際奉仕委員会報告	19

附 表

昭和41年度予算書

会 員 名 簿

職業分類別会員表 (別紙)

ク ラ ブ 会 報 (")

クラブアッセンブリープログラム

1967. 2. 1

於 鶴 鳴 館

17.00 ~ 17.01	開 会 の 辞	副 会 長	島 津 忠 丸
17.01 ~ 17.04	ロータリーソング(奉仕の理想) 斉唱		
17.04 ~ 17.10	歓迎の辞及び ガバナー紹介 会 長	米 倉 秀 雄	
17.10 ~ 17.15	ガバナー挨拶	ガバナー	吉 村 常 助
17.15 ~ 17.25	会 員 自 己 紹 介		
17.25 ~	会 長 報 告	会 長	米 倉 秀 雄
	概 況 報 告	幹 事	藤 安 辰 造
	会 計 報 告	会 計	名 越 時 秀
	クラブサービス報告	会 務 担 当	河 井 時 義
	出席奨励委員会報告	委 員 長	高 田 光 義
	職業分類委員会報告	"	岩 元 正 二
	会員選考委員会報告	"	川 村 洋
	プログラム委員会報告	"	鮫 島 志 芽 太
	広報委員会報告	"	佐 伯 延 次 郎
	親睦委員会報告	"	牧 田 健 二
	ロータリー情報委員会報告	"	岡 元 健 一 郎
	会報雑誌委員会報告	"	高 徳 三 蔵
	S. A. A 報 告	S. A. A	田 平 礼 章
	職業奉仕委員会報告	委 員 長	小 山 幸 義
	社会奉仕委員会報告	"	高 井 敏 治
	青少年奉仕委員会報告	"	柴 山 一 雄
	国際奉仕委員会報告	"	川 路 清 高
	講 評	ガバナー	吉 村 常 助
	閉 会 の 辞	幹 事	藤 安 辰 造
2.00 ~	懇 談 会 食		
2.40	終 了		
	ロータリーソング(手に手つないで) 斉唱		

1951-1952 (1952-1953)

Year	Item	Value	Unit	Notes
1951-1952
1952-1953
1953-1954
1954-1955
1955-1956
1956-1957
1957-1958
1958-1959
1959-1960
1960-1961
1961-1962
1962-1963
1963-1964
1964-1965
1965-1966
1966-1967
1967-1968
1968-1969
1969-1970
1970-1971
1971-1972
1972-1973
1973-1974
1974-1975
1975-1976
1976-1977
1977-1978
1978-1979
1979-1980
1980-1981
1981-1982
1982-1983
1983-1984
1984-1985
1985-1986
1986-1987
1987-1988
1988-1989
1989-1990
1990-1991
1991-1992
1992-1993
1993-1994
1994-1995
1995-1996
1996-1997
1997-1998
1998-1999
1999-2000
2000-2001
2001-2002
2002-2003
2003-2004
2004-2005
2005-2006
2006-2007
2007-2008
2008-2009
2009-2010
2010-2011
2011-2012
2012-2013
2013-2014
2014-2015
2015-2016
2016-2017
2017-2018
2018-2019
2019-2020
2020-2021
2021-2022
2022-2023
2023-2024
2024-2025

1951-1952

1951-1952

役員・委員名簿

1966-7~1967-6

会 長(理 事)	米 倉 秀 雄
副 会 長(")	島 津 忠 丸
幹 事	藤 安 辰 造
副 幹 事	安 楽 慶 一 郎
理 事	飛 岡 俊 夫
"	河 井 時 義
"	小 山 幸 義
"	高 井 敏 治
"	柴 山 一 雄
"	川 路 清 高
会 計	名 越 時 秀
S. A. A	田 平 禮 章
副 S. A. A	光 安 善 雄 (兼)

会務担当 河 井 時 義

出 席 奨 励	◎ 高 田 光 義	○ 岡 山 栄・桜 美 四 郎
職 業 分 類	◎ 岩 元 正 二	○ 柳 田 喜 雄・黒 木 長 太 郎
会 員 選 考	◎ 川 村 洋	○ 塘 一 郎
プ ロ グ ラ ム	◎ 鮫 島 志 芽 太	○ 町 田 久 敬・土 橋 英 夫
広 報	◎ 佐 伯 延 次 郎	○ 岩 田 太 一・西 郷 隆 永
親 睦	◎ 牧 田 健 二	○ 齊 藤 善 右 衛 門・林 幸 光・幸 泉 芳 良 光 吉 正 昭・浜 田 馨
ロ ー タ リ ー 情 報	◎ 岡 元 健 一 郎	○ 久 保 政 次・衛 藤 右 三 郎・栗 川 久 雄
会 報 ・ 雑 誌	◎ 高 徳 三 蔵	○ 斎 藤 一 夫・久 保 田 彦 穂
職 業 奉 仕	◎ 小 山 幸 義	○ 堀 之 内 昭 一 郎・岩 元 健 吉・新 福 栄 熊
社 会 奉 仕	◎ 高 井 敏 治	○ 光 安 善 雄・倉 園 清 市
青 少 年 奉 仕	◎ 柴 山 一 雄	○ 堀 川 昇・伊 東 則 生
国 際 奉 仕	◎ 川 路 清 高	○ 福 田 敏 之・徳 田 基

◎ 委員長

○ 副委員長

会 長 報 告

会 長 米 倉 秀 雄

色々と考えて居りましたが、私が会長に就任致しましてから6か月を経過致しました。

歴代会長の努力によりまして、クラブは年々発展して参りましたが、何と云いましてもクラブ発足以来日が浅く若いクラブでありますので、クラブの運営に当りましては、前会長に引きつづき、クラブの基礎固めと内部の充実が重要であると思います。

そのためには会員の出席率の向上を図り、会員の和を深め、その基礎の上にロータリー精神を体得して、奉仕の理想の実現に努めるよう運営致したいと思つて居ります。

クラブ活動につきましては、R.I会長のA Better World Through Rotary を旨としてやつて居ります。

尙、今日末だ御報告の段階ではありませんが、新クラブ結成のために下準備中であります。

個々の活動につきましては、各委員会からの報告に述べられて居りますから省略させていただきます。

1. 本邦の産業は、戦前と戦後とを比較すると、戦前は農業が中心で、戦後は工業が中心である。

2. 戦前は農業が中心で、戦後は工業が中心である。

3. 戦前は農業が中心で、戦後は工業が中心である。

4. 戦前は農業が中心で、戦後は工業が中心である。

5. 戦前は農業が中心で、戦後は工業が中心である。

6. 戦前は農業が中心で、戦後は工業が中心である。

7. 戦前は農業が中心で、戦後は工業が中心である。

8. 戦前は農業が中心で、戦後は工業が中心である。

9. 戦前は農業が中心で、戦後は工業が中心である。

10. 戦前は農業が中心で、戦後は工業が中心である。

概 況 報 告

幹 事 藤 安 辰 造

- | | |
|-----------------------|---|
| 1. 創 立 年 月 日 | 昭和 3 8 年 3 月 2 3 日 |
| 2. 承 認 年 月 日 | 昭和 3 8 年 6 月 2 7 日 |
| 3. チャーターメンバー | 2 5 名 (内 現 会 員 1 6 名) |
| 4. 本 年 度 頭 初 会 員 数 | 4 6 名
入会者 2 名 |
| 5. 現 在 会 員 数 | 正 会 員 4 6 名 アデシヨナル正 会 員 1 名
シニア・アクチブ 会 員 1 名 計 4 8 名 |
| 6. 平 均 年 令 | 5 2. 7 才 最 高 7 9 才 最 低 3 4 才
3 0 才 台 6 名 4 0 才 台 1 2 名
5 0 才 台 1 9 名 6 0 才 台 9 名
7 0 才 台 2 名 |
| 7. 出 席 率 | 9 8. 8 1 % (4 1. 1 ~ 1 2) |
| 8. 予 算 | 未 尾 の 通 り |
| 9. 入 会 金 | 1 5, 0 0 0 円 |
| 10. 年 会 費 | 3 6, 0 0 0 円 |
| 11. ビジター 会 費 | 3 5 0 円 |
| 12. 会 報 | 週 報 毎 週 発 行
会 報 年 2 回 発 行 予 定 |
| 13. ロータリアン 誌 | 3 名 購 読 |
| 14. クラブ アツセンブリー | 6 回 開 催 (過 去 1 年 間 に) |
| 15. クラブ フォーラム | 2 回 開 催 (") |
| 16. 炉 辺 会 合 | 委 員 会 毎 に 4 回 開 催 (") |
| 17. 理 事 会 | 定 時 理 事 会 毎 月 第 2 週 例 会 後 開 催
臨 時 理 事 会 必 要 に 応 じ 適 時 開 催 |
| 18. 県 下 R C 会 長 幹 事 会 | |

大体 3 か月毎に輪番で開催，お互いに意見の交換を行つたり共同事業を協議しこれを実施している。

会 計 報 告

会 計 名 越 時 秀

1. クラブの会費は年額36,000円を7月と1月の2期に分割徴収している。
2. 7月初旬に理事会で年間の予算を樹て、予算外の支出は必ず理事会の承認を得て支出されている。
3. 期末には監査を行い、会員に対し会計の報告をしている。
4. ロータリー財団に対し、100%寄与している。
米山記念奨学会に対しても同様寄与している。
5. 本年度の予算は末尾の通り。

クラブサービス報告

会務担当 河 井 時 義

基本方針

クラブサービスの向上は、ロータリアンとしての自覚を育成する基礎的な事項に属するものでありますから、その中に入る各委員会、即ち、出席、職業分類、会員選考、プログラム、会報雑誌、親睦、広報、ロータリー情報及びS. A. A各委員会間の連絡をはかり、各委員会活動に役立つ如き協力を行い、クラブ活動が円滑に行われるように推進することを使命とする。

業 績

1. クラブアツセンブリーを3回開催した。
2. クラブフォーラムを2回開催した。
3. ファイヤサイド・ミーチングを4回開催した。
4. クラブの内容を更に充実するため、クラブサービス関係の小委員会を開いた。今後は毎月第1週例会後に開くことに決定した。

計 画

1. 前年度第370区出席率9位から8位に進出した成績を維持し、更に向上せしめたい。
2. 現在育ちつつあるクラブの家族的雰囲気益々拡大し、当クラブの特徴の1つとしたい。
3. 各委員会間の活動を調和あるものとする。

出席奨励委員会報告

委員長 高田 光 義
委員 岡 山 栄
" 桜 美 四 郎

基本方針

当クラブは創立以来3か年間連続して第370区での出席率優秀の表彰を受賞している。当年度も現状では受賞圏内にあるので、この榮譽を確立するように会員に呼びかけて相互に努力を尽すことにつとめ、以て格調高い当クラブの雰囲気とすることにした。

業 績

1. 前半期の出席率は別表の通りである。
2. 10月第370区表彰受賞を機会に、文書を以て会員にその喜びを伝えと共に、特に出席率の低い会員には今後の努力の目標をお願いした。
3. 年間連続出席者13年1名、3年4名、2年6名、1年5名に記念品を贈呈した。
4. 月間の出席率を報告して、出席率についての会員の意欲を昂揚するように努めた。

計 画

1. 当クラブでは出席に対する会員の意識が非常に徹底しているので、特別の会員に対して夫々の向きよりアプローチして敢えて100%出席率を目標とした。
2. 会員の海外旅行、或いは長期遠隔地出張の際の出先についてのメイクアップをより行い易くするために、出張前にバナー交換を依頼する等の連絡を十分にいたしたい。

例会出席状況

回数	例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	メイクアップ	出席訂正率	ゲスト	ビジター
168	41. 7. 7	46	35	11	76.09	11	100.00	1	17
169	14	46	35	11	76.09	11	100.00	1	18
170	21	46	34	12	73.91	11	97.83	1	17
171	28	47	37	10	78.72	9	97.87	1	17
172	8. 4	47	33	14	70.21	12	95.74	1	16
173	11	47	34	13	72.34	11	95.74	0	15

回数	例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	メイク アップ	出席 訂正率	ゲスト	ビジター
174	41. 8.18	47	38	9	80.85	8	97.87	0	23
175	25	47	35	12	74.47	11	97.87	1	20
176	9. 1	47	41	6	87.23	6	100.00	1	16
177	8	47	35	12	74.47	11	97.87	1	20
178	22	47	33	14	70.21	14	100.00	1	20
179	29	47	40	7	85.11	7	100.00	0	0
180	10. 6	47	33	14	70.21	13	97.87	1	12
181	13	47	30	17	63.83	16	97.87	1	16
182	20	47	33	14	70.21	14	100.00	1	24
183	27	47	38	9	80.85	8	97.87	0	27
184	11.10	47	34	13	72.34	13	100.00	0	27
185	17	47	31	16	65.96	16	100.00	1	18
186	24	47	38	9	80.85	9	100.00	0	31
187	12. 1	47	32	15	68.09	14	97.87	0	21
188	8	47	35	12	74.47	11	97.87	1	20
189	15	47	40	7	85.11	7	100.00	1	22
190	22	47	35	12	74.47	12	100.00	0	13
191	26	47	44	3	93.62	3	100.00	17	0
24回	計	1,125	853	272	1819.71	258	237.004	32	430
	平均	47	36	11	75.82	10	98.79	1	14

NO	DATE	AMOUNT	REMARKS	INITIALS	SIGNATURE	DATE	AMOUNT	REMARKS	INITIALS	SIGNATURE	DATE	AMOUNT	REMARKS	INITIALS	SIGNATURE
1	1948	100	1948	100	1948	100
2	1948	200	1948	200	1948	200
3	1948	300	1948	300	1948	300
4	1948	400	1948	400	1948	400
5	1948	500	1948	500	1948	500
6	1948	600	1948	600	1948	600
7	1948	700	1948	700	1948	700
8	1948	800	1948	800	1948	800
9	1948	900	1948	900	1948	900
10	1948	1000	1948	1000	1948	1000

月 別 出 席 率 表

年 月	%			出席率	地区 順位
	90	95	100		
41. 1	→			97.70	20
2	→			98.30	16
3	→			98.64	12
4	→			100.00	1
5	→			100.00	1
6	→			98.28	15
7	→			98.93	17
8	→			96.81	26
9	→			99.47	12
10	→			98.40	16
11	→			100.00	1
12	→			99.15	14

平均 98.81%

職業分類委員会報告

委員長 岩元正二
委員 柳田喜雄
" 黒木長太郎

基本方針

1. ロータークラブの充実を図ることを方針とする。
2. 職業分類表を作成，会員に配布し，未充填分類を充填するよう新会員の推薦を依頼する。
新会員4～5名の増員を目標とする。

業績

1. 委員会を開催，職業分類表を作成。
2. クラブアツセンブリー・ファイヤサイド・ミーティングにおいて，新会員推薦を再度依頼する。

計画

本年度中に委員会を2回開き，職業分類について再検討したい。

職業分類別会員数 (48名)

職業分類	会員数	職業分類	会員数
酒 精 飲 料	2 名	施 設 及 病 院	2 名
放 送	1	保 險	1
ビ ジ ネ ス ・ サ ー ビ ス	1	鉄 鋼 業	1
菓 子	1	法 律	1
建 設 業	3	機 械 及 装 置	2
綿 業	1	医 術	5
織 維 品 及 雑 貨	2	鋳 油 工 業	1
教 育	5	印 刷 及 出 版	1
金 融	5	純 科 学	1
芸 術	2 (1名) <small>(デザインショナル)</small>	鉄 道 装 置	1
食 品 工 業	1	ゴ ム 工 業	1
植 物 性 食 品	1	運 輸	1
家 具 及 備 品	1	木 材 工 業	2
旅 館 及 食 堂	1	(シ ニ ア ・ ア ク チ ブ)	1

会員選考委員会報告

委員長 川 村 洋
委員 塘 一 郎

基本方針

1. 会員として推薦された人の資格、職業上並びに社会的地位、人格等を厳正に評価して理事会に報告する。
尚、選考に際しては出席の可能性、融和性も十分考慮する。
2. クラブの職業分類をしばしば検討して、開放された職業分類を充填するよう適当な人物を理事会に推薦する。

業 績

単なる会員増加より、質に重点をおいて選考する方針を維持している。

計 画

未充填職業分類のうち、少くとも3部分を充填するよう推薦したい。

プログラム委員会報告

委員長 鮫 島 志芽太
委員 町 田 久 敬
" 土 橋 英 夫

基本方針

会員が出席する意欲を持てるような「期待されるプログラム」の編成を工夫する。内容は品格、有益、親和、ユーモア、興味を保つことを主眼とする。このため、クラブの組織、役員・会員と密接な連絡を保ち、卓話者の開発をはかる。

業 績

卓話は、ゲスト50%、会員25%、映画その他25%の方針をほぼ実行し、バラエティのある内容を保てた。とくに鹿児島県の農業、鹿児島県の歴史、鹿児島県の生物、鹿児島県の民謡などの郷土シリーズ物語りを各専門家に依頼し、地域社会の実態を知るといふ試みは、成功しつつあると信ずる。その他、時の情勢や主要年中行事とタイミングの合った卓話を組んできた。

また、計画実施に当っては、プログラム委員長だけでなく委員が積極的に責任ある実践者となつて計画し、かつ実行してきた。

計 画

1. 以上、実行した方針をさらに肉付けして進める。

2. 年間計画表を、基本方針に副つて、さらに煮詰める。
3. 委員会とクラブ諸組織との連絡を強める。
4. 予算の充実につとめる。(充実したプログラムを実行するには予算が不足しがち)

卓 話 一 覧 表

月 日	来 賓 卓 話			会 員 卓 話	
	氏 名	職 業	題 目	氏 名	題 目
41. 7. 7	有馬 万里代	鹿大助教授	イタリアから帰つて		
14	山口 秀治	鹿児島県農政部長	20年後の鹿児島 県農業について		
21	比地岡 栄雄	前臥蛇島小校長	離島教育27年の 喜びと悲しみ		
28	上野 喜左衛門	鹿商工会議所会頭	石油コンビナート について		
8. 4	下松 哲雄	第十管区海上保安 本部警備救難部長	南極の話その他		
11		森永乳業提供 (映画)	生まれる		
18				岩元正二	欧米旅行談義
25	三ツ井 卯三男	鹿児島市長	ナポリから帰つて		
9. 1				福田敏之	高校生とアメリ カを回つて
8	久保 けんお	民謡研究家	鹿児島県の民謡に ついて		
22	大園 純也	南日本新聞社記者	城山陥落をめぐつ て		
29					(観月家族会)
10. 6				新福栄熊	ヨーロッパ視 察旅行につて
13	鎌田 範政	玉竜高校教諭	ヨーロッパあれこれ		
20	山下 猛	薩摩びわ同好会評 議員	薩摩びわ 「岩崎谷」		
27				岡元健一郎	老化と性功能
11. 10				高井敏治	マッチクラブの例 会に出席して

月日	来 賓 卓 話			会 員 卓 話	
	氏 名	職 業	題 目	氏 名	題 目
11.17	町田 秀実	第370区 ロータリー財団委員	ロータリー財団 週間に当つて		
24				岩元(正), 川村, 島津, 柴山, 藤安	クラブアツセン ブリー(年次大 会報告)
12.1		県観光課提供 (映画)	太陽のくに鹿児島		
8	日野 光次	鹿大名誉教授 文化財専門委員	鹿児島島の生物		
15	河口 貞徳	玉竜高校教諭	考古学からみた 鹿児島		
22					クラブフォーラム (職業, 社会, 青少年)
26					(クリスマス 家族会)
42. 1.5	寺園 勝志	鹿児島県知事	ジョージア州と盟約 式を終えて		
12					クラブアツセン ブリー

広 報 委 員 会 報 告

委員長 佐 伯 延次郎
 委員 岩 田 太 一
 " 西 郷 隆 永

基本方針

ロータリーの精神と、クラブ活動の実体に対する一般世間の認識と理解を深めるため、下記の事項の実行につとめる。

1. クラブ外の各種機関、とくに新聞、ラジオなどのマスコミ機関に働きかけること。
2. クラブ内各組織と連絡を密にし、その協力を得て、クラブの各種活動、行事等に関する広報資料の獲得入手につとめること。
3. クラブ内会合になるべく多くのゲストを招くこと。
4. クラブ員各自のロータリー精神にもとづく生活と活動そのものが、大きな広報力であること

に対する自覚を深めること。

業 績

1. クラブの活動、行事等に関し、マスコミ機関に報道資料を提供した。卓話が新聞に掲載されたこともある。
2. クラブ内各組織との積極的連絡につとめた。

計 画

上掲の基本方針に示された各事項の実行をいつそう推し進めたい。

親 睦 委 員 会 報 告

委員長	牧 田 健 二
委 員	齊 藤 善 右 衛 門
”	林 幸 光
”	幸 泉 芳 良
”	光 吉 正 昭
”	浜 田 馨

基本方針

会員相互の理解と友愛を深め、更に家族を含めての親睦にまで発展するよう努力する。

業 績

1. 毎月第1例会日にその月の該当者に対し、誕生祝、結婚祝を贈り、誕生者には全員で「Happy Birth-day to you」を合唱し祝福している。
2. 出席100番目毎のピジターに幸運賞として記念品を贈呈している。
3. 家族会を開催し、会員並びに家族間の親睦を深めた。
 - (1) 9月29日(木)秋の家族懇親会(中秋の名月観月会を兼ねて)
 - (2) 12月26日(月)Xmas家族会(鶴丸高校インターアクト招待)
4. 姉妹クラブ第353区鶴岡R.C.に対し、鹿児島庄内会の鶴岡訪問の際、当クラブ会員である鮫島志芽太君が一行に参加されたので、会長メッセージと一緒にお土産(屋久杉製額縁入り鹿児島風景画)を贈呈した。(7月27日)
5. 鶴岡R.C.より青少年交換使節第1号として、斎藤寿一君(斎藤元会長の長男)外4名が来鹿し、会長メッセージと書籍「臥牛菅実秀」10冊を戴いたので、当クラブ、インターアクト鶴丸高校生を交え、会員8名も出席して懇談し、姉妹クラブとの親睦を深めた。(8月12日)
6. 当クラブ第1回ゴルフ大会を10月22日(土)吉野コースにおいて開催し、ゴルフカップを優勝者に寄贈、会員相互の親睦を深めた。

7. 例会前の会場を堅苦しくないなごやかなムードにするため、例会前静かなピアノ演奏を行なっている。

計 画

1. 年間3回の家族親睦会を計画しているが、4月頃春の家族会を開きたい。
2. 県下8クラブのピンポン大会、ゴルフ大会などには積極的に参加し、他クラブとの親交を深めるよう努力したい。
3. 来訪者やゲスト、ビジターに対しては、心から歓待し、相互の親睦をはかるよう努力する。
4. 会員及び家族のお祝事には例会のとき、祝詞を述べ、会員みんなで祝福したい。
5. 当クラブ第2回ゴルフ大会は、春3月頃行ないたい。
6. S. A. Aとは引続き密に連絡する。

ロータリー情報委員会報告

委員長	岡 元 健一郎
委員	久 保 政 次
"	衛 藤 右三郎
"	栗 川 久 雄

基本方針

会員、とくに新入会員がロータリーについて理解を深め、ロータリー精神を身につけるために必要な情報を提供して、理解について援助し、助言する。

業 績

1. 新入会員には、入会前に個人的に会談して、ロータリーの内容およびロータリーを理解するために、有用な情報源となる各文献の存在を説明している。ロータリーの内容としては、ロータリーの「奉仕の理想」の精神と標準定款の要点にとどめている。
2. ロータリーを理解する情報源となるペーパー、パンフレットなどの文献でクラブに不足しているものを補充した。
3. 毎月1回位、例会の卓話前に簡単なロータリーの情報を流している。

計 画

1. 会長、幹事、その他の役員とつとめて密接な接触を保つとともに、ロータリー情報で必要なものがあれば、適切な文献を紹介することにつとめたい。
2. ロータリアン誌、その他の文献を渉読して、情報に関する記事を会員に紹介するようにしたい。その場合に情報がむずかしいもの、退屈なものでないように研究したい。

会報，雑誌委員会報告

委員長 高德三蔵
委員 斉藤一夫
" 久保田彦穂

基本方針

クラブ会報は

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 役員と会員間 | } の伝達チャンネルであり、 |
| 2. 委員会と会員間 | |
| 3. 会員各個人間 | |

ロータリークラブという組織体の神経系統であるとの自覚をもつて編集に当る。

業績

1. 地区協議会，インターシテイ・ゼネラル・フォーラム，地区大会での討論概要を会報として掲載配布した。
2. 国際ロータリーニュースより会員に参考になる事項を抜萃して，会報とし掲載配布した。
3. (イ) 出席を奨励増進する。
(ロ) 前週例会の報告と次回予告をし，欠席者にも例会の様態や伝達事項を周知させる。
(ハ) 卓話要旨を載せ，紙面にうるおいを持たせる。
(ニ) インターアクトの行事予定，行事の結果を報告する。
以上の内容を盛り，毎週週報を発行配布しています。

計画

1. 今後の計画としては，特別行事のあつた時，例えば，今回の公式訪問等を記事として会報を発行する積りです。
2. 週報はこれ迄同様の内容にて，引続き毎週発行します。

S. A. A 報告

S. A. A 田平礼章
副S. A. A 光安善雄(兼)

基本方針

なごやかな雰囲気の内会を進めながら，秩序と品位あるものとし，ゲスト，ビジター特に遠隔地からの方には，特に配慮して，好意と友情を深めるようにする。

業 績

1. 早出して、会場、装置その他を点検し、会の進行に支障を来たさないよう努力した。
2. 例会前は毎週招待してある音楽の先生により、ピアノ曲が会場を流れるが、来られない時は、新しいロータリーソング等を流して快い雰囲気を作るようにした。
3. 遠隔地からのビジターは、その職業分類等により、隣席の配置等にも注意し、出来るだけ好い印象を与えるよう努力した。
4. 早退の問題は、プログラム委員等の御努力にもより、割に少く余り問題にならない。当クラブ員も他のクラブへ出席する際、不必要の早退をしないようにして、早退者の続出という悪慣習を作らないよう自粛したい。
5. ニコニコボックスについては、新聞その他によつて、できるだけ、ニュースをキャッチし、ユーモアの内に活用した。

計 画

更に会長、幹事、各委員会との連絡を密にし、機会のある毎に他クラブの例会にも出席して、良い点があれば積極的に取り入れたい。

職 業 奉 仕 委 員 会 報 告

委員長	小 山 幸 義
委 員	堀之内 昭一郎
"	岩 元 健 吉
"	新 福 栄 熊

基本方針

国際ロータリー設立の創設期より、各会員の職業を通じて、社会への奉仕という事が一つの柱であつた。この大原則にのつとり、各種の事業を行う。

業 績

1. クラブフォーラムにおける職業奉仕部門で事例研究を行ない、会員の関心を高めた。
2. 海難救助に当つている海上保安関係者を表彰した。
3. インターアクト会員への職業的知識を導入した。

計 画

1. 会員相互の研修になるような工場その他の見学。(放送局見学)
2. 会員の職場における優秀職業人の表彰。

社会奉仕委員会報告

委員長 高井敏治
委員 光安善雄
" 倉園清市

基本方針

地域社会の福祉増進のために、手近なこと、やれば出来ることから手をつけて行きたい。前年度の業績を見て、よいことは今年度も続けて行なう。

業績

1. 宮古島の台風災害に対して義援金を贈った。
2. 歳末助け合いとして、市社会福祉協議会に献金した。
3. 交通安全県民会議、市民会議の街頭指導に協力した。
4. 前年度に行なわれた事業で、高校に交通安全のカラーズライドを贈る事業が終結した。
5. 鹿児島市の車輛駐車難を緩和するため、中央公園に半地下室を設けたらどうかと、関係方面に働きかけている。

計画

1. 整肢園等身体不自由者の施設に勤務する職員の激励感謝。
2. 献本運動に協力。(ロータリー図書館の図書寄贈等を含む)
3. 交通安全運動に協力。
4. 地域都市の美化運動に協力。
5. 3月12日自衛隊中央音楽隊を招いて、文化センターで慈善音楽会を開催するよう準備中である。

青少年奉仕委員会報告

委員長 柴山一雄
委員 堀川昇
" 伊東則生

基本方針

青少年が未来に向つて輝かしい理想を求め、真理と平和を愛し、公共に奉仕する豊かな人間性を備えた明日の国民として、健かに成長することを、心より期待し、青少年の不良化を防止し善

導すると共に、良き若人をよりよき若人となるよう努力する。

業 績

1. ワンダーフォーゲル運動に参加、鹿児島宿舍154名、高千穂宿舍25名、計179名利用した。
2. ボーイスカウトのジャンボリーに援助した。
3. I. A. C 関係
 - 7月 a 早起城山登山、頂上午前5時集合、校長、指導教官、R. C会員、鶴丸高校I. A. Cと話し合う。
 - b 姉妹クラブ鶴岡R.Cの子弟の訪問を受け、メッセージ及び「臥牛菅実秀」10冊を受納す。
 - c I. A. CとI. A. CのOBとの会合。
 - 8月 d 第370区第2回インターアクト連絡協議会、I. A. C12名R. C3名参加する。
 - e 延岡I. A. Cより来訪、I. A. Cと交歓会を行なう。
 - 9月 f 岡山R. C青少年委員長 藤原君来訪。
 - 10月 g 鶴岡R. C青少年委員長 林君来訪。
 - 12月 h 廃品回収。
 - 1月 i 元旦に城山へ登り初日の出を拝む。
 - j 訪日韓国I. A. Cとの交歓会。
 - k 3年I. A. Cの激励会。

計 画

1. 地区青少年運動に協力。
2. I. A. Cの充実。
3. 寺山公園清掃。
4. 施設の慰問。
5. ワンダーフォーゲルの刷新。
6. 各委員との緊密なる連絡。

国際奉仕委員会報告

委員長 川路清高
委員 福田敏之
" 徳田基

基本方針

R.I エバンス会長が提唱される「ロータリーでよりよい世界を」の精神を生かすためには、国際奉仕の活動が特に活発でなければならない。

国外クラブとの交友を深めることにより、国際親善に努力する。

業績

1. 会員の外遊に際し、交換地区たる第719区内のマツチクラブに出席して、スライドによるクラブ紹介、バナーの交換等、親善を深めてもらった。
2. ロータリー財団に寄付した。百万ドル会食による差額を寄付した。
3. フィリッピンの農村救済のための義援金を贈った。
4. 韓国からのインターアクトの受入れに努力した。

計画

1. 国際理解週間に在鹿の留学生を招待する。
2. 外国クラブとの文通をさらに高めたい。
3. クラブ会員の外遊に際して、当地紹介の文献、スライド等を持参してもらうため、その作成に努めたい。

附 表

昭 和 4 1 年 度 予 算 書

会 員 名 簿

職 業 分 類 別 会 員 表 (別 紙)

ク ラ ブ 会 報 (")

昭和41年度収支予算書

1966-7 ~ 1967-6

(収入の部)

費 目	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	279,081	
年会費	1,800,000	18,000円×50名×2期
雑誌代	66,000	660円×50名×2期
入会金	45,000	15,000円×3名
ロータリー財団寄付金 (入会時)	10,800	3,600円×3名
ビジター会食費	336,000	350円×80名×12ヵ月
雑収入	90,000	ニコニコ箱, 預金利息外
合 計	2,626,881	

(支出の部)

費 目	予 算 額	摘 要
1. 人頭分担金	101,520	1,080円×47名×2期
2. 地区資金	47,000	500円×47名×2期
3. 地区国際青少年資金	18,800	200円×47名×2期
4. 地区大会分担金	47,000	1,000円×47名
5. 米山記念奨学金	28,200	300円×47名×2期
6. ロータリー財団寄付金	16,920	360円×47名
7. ロータリー財団 寄付金 (入会時)	10,800	3,600円×3名
8. 雑誌代	66,000	660円×50名×2期
9. 会議費	70,000	地区協議会, 会長幹事会登録料, 理事会, アッセンブリー補助外
10. 事業費	(421,000)	
イ 職業奉仕	20,000	優良職業人の表彰

費 目	予 算 額	摘 要
ロ 社 会 奉 仕	60,000	ロータリー賞, 歳末助け合い寄付, 合同奉仕負担金外
ハ 青 少 年 奉 仕	105,000	ワンダーフォーゲル負担金, インターアクト育成, ホーイスカウト助成金外
ニ 国 際 奉 仕	25,000	世界理解週間行事, 外国との文通費外
ホ クラブサービス	(211,000)	
① 出 席	23,000	表彰1年~3年450円×28 4年600円×16 13年600円×1
② 会 員 選 考	1,000	
③ 職 業 分 類	6,000	職業分類表印刷代
④ 親 睦	100,000	誕生祝, 結婚記念祝, ビジター100番記念, 家族会補助 レクリエーション負担金外
⑤ プ ロ グ ラ ム	25,000	卓話謝礼800円×25名 1300円×4名(遠方の方)
⑥ ロータリー情報	16,000	ガサ月信100円×46名×2 ロータリー手帳100円 ×50 文献費
⑦ 広 報	15,000	
⑧ 会 報・雑 誌	25,000	会報, 週報用紙代
11. 会 食 費	962,500	350円×55名×50回
12. 事 務 局 費	(632,000)	
イ 人 件 費	360,000	事務員給料, 夏期年末手当24,000円×15
ロ 通 信 費	46,000	郵便料, 電話料, 送金手数料
ハ 事 務 用 品 費	10,000	事務用品一切
ニ 印 刷 費	20,000	公式訪問報告書等印刷代
ホ 厚 生 福 利 費	19,000	健康保険料外
へ 旅 費	65,000	地区協議会旅費, 宿泊費 年次大会参加拠出金外
ト 図 書 費	7,000	新聞代外
チ 借 室 料	72,000	6,000円×12ヵ月
リ 雑 費	33,000	前会長, 幹事記念品代外
13. 備 品 費	50,000	
14. 予 備 費	155,141	
合 計	2,626,881	

基金特別負担金予算書

費 目	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	95,000	
基金特別負担金	15,000	新会員3名の予定
合 計	110,000	\

会 員 名 簿

	氏 名	職業分類	勤 務 先		自 宅
1 A	安 楽 慶一郎	焼 酎 製 造	安 楽 酒 造 (株)	代表取締役	平之町130 高麗町615
2 E	衛 藤 右三郎	建 築 設 計	衛 藤 建 築 設 計 事 務 所	所 長	西千石町 3の16 宇宿町 2536
3 F	福 田 敏 之	民 間 放 送	(株)南日本放送	取 締 役 編 成 局 長	高麗町17 草牟田町 4195
4	藤 安 辰 造	味 噌 製 造	藤 安 醸 造 (株)	取締役社長	住吉町 6の15 住吉町 6の20
5 H	林 幸 光	洋 楽	鹿 児 島 大 学 県 立 短 大 (千代田短大)	講 師 教 授	鴨池町251 西田町 58の6
6	堀之内 昭一郎	家 具 製 造	堀之内木工業(株)	専務取締役	東千石町 1の42 加治屋町 4の26
7	堀 川 昇	生 命 保 険	日 本 生 命 保 険 鹿 児 島 支 社	支 社 長	武町 431 上荒田町 2070 南国日本生命 ビル内
8	浜 田 馨	酒 類 販 売	(株)浜田酒店	取締役社長	高麗町192 同 左
9 I	岩 元 健 吉	製 綿	カクイわた(株)	取締役社長	郡元町927 郡元町 1172
10	岩 元 正 二	織 維 品 販 売	山形屋商事(株)	常務取締役	堀江町 8 高麗町143
11	岩 田 太 一	和 菓 子 製 造	(有)明石屋菓子店	取締役社長	金生町 3 西千石町 129
12	伊 東 則 生	タ ク シ ー 業	(有)丸信タクシー	取締役社長	清水町 64 天保山町 50
13 K	河 井 時 義	外 科 医	河井外科医院	院 長	高麗町183 同 左
14	川 村 洋	百 貨 店	(株)山形屋	常務取締役	金生町3の1 下荒田町 2247
15	川 路 清 高	医 学 教 育	鹿 児 島 大 学 医 学 部	教 授	城山町 7 新照院町 154
16	黒 木 長太郎	経 済 学 教 育	鹿 児 島 経 済 大 学	学 長	谷山市下福元町8850 菜師町444
17	久 保 政 次	ゴ ム 製 品 販 売	(株)久保利商店	取締役社長	名山町1の4 下竜尾町77
18	久保田 彦 穂	文 芸			長田町146

	氏名	職業分類	勤務先	自宅
19	K 倉園清市	信用金庫	鹿兒島相互信用金庫 常務理事	泉町 18 下荒田町 72
20	栗川久雄	高等学校	県立鶴丸高等学校 校長	薬師町 34 下荒田町 440
21	小山幸義	ホテル	(株) 鹿兒島鶴鳴ホテル 取締役社長	城山町 5の30 同左
22	幸泉芳良	鉄鋼販売	幸泉交易(株) 専務取締役	泉町 3の7 同左
23	M 牧田健二	内科医	牧田医院 院長	下竜尾町 6 同左
24	町田久敬	外国為替銀行	(株) 三井銀行 鹿支店 支店長	金生町 5の1 薬師町 32
25	光安善雄	原木販売	光安木材(株) 専務取締役	栄町 11 下竜尾町 85
26	光吉正昭	請負業	小牧建設(株) 常務取締役	西千石町 2の35 鴨池町 471
27	N 名越時秀	商業銀行 (アデイショナル)	(株) 鹿兒島銀行 武町支店 支店長	武町 429 永吉町 295
28	O 岡元健一郎	病院	鹿兒島大学 付属病院 泌尿科部長	城山町 8の3 城山町 7の13
29	岡山栄	会計士	岡山公認会計士事務所 所長	薬師町 53 同左
30	S 西郷隆永	相互銀行	(株) 旭相互銀行 常務取締役	六日町 8 鴨池町 507
31	桜美四郎	シニア・アクティブ (瓦斯供給)	日本瓦斯(株) 相談役	武町 501 上之園町 37
32	鮫島志芽太	新聞発行	(株) 南日本新聞社 常務取締役	易居町 1の5 上荒田町 62
33	斉藤善右衛門	林業	(株) 島津興業 常務取締役	薬師町 1380 郡元町真砂 5区6班
34	斉藤一夫	鉄道車輛修理	国鉄鹿兒島工場 工場長	上荒田町 800 郡元町 24 唐湊国鉄宿舎
35	佐伯延次郎	短期大学	鹿兒島県立短期大学 学長	下伊敷町 104 清水町 133
36	柴山一雄	歯科医	柴山歯科医院 院長	山下町 9の31 同左
37	島津忠丸	土木建築	新九州建設(株) 常務取締役	吉野町磯 9688 清水町 21
38	新福栄熊	自然科学	鹿兒島大学 教育学部 教授	鴨池町 251 玉里町 3465

		氏 名	職業分類	勤 務 先		自 宅
39	T	高德三蔵	機械類輸出入	三菱商事 鹿支店	支店長 名山町 1の3の85	下荒田町 2229の4
40		高井敏治	砂糖販売	(株)高井商店	専務取締役 汐見町15	加治屋町 5の21
41		高田光義	石油販売	南国殖産(株)	常務取締役 武町431 南国日本生 命ビル内	天保山町 88の3
42		田平禮章	整形外科医	田平整形 外科病院	副院長 加治屋町 16の5	加治屋町 11の17
43		土橋英夫	産婦人科医	土橋病院	院長 西田町10	西田町12
44		塘一郎	工業教育	鹿児島大 工学部	教授 鴨池町52	伊敷町1の2 伊敷栄門住 宅4号
45		飛岡俊夫	商業銀行	(株)鹿児島銀行	常務取締役 金生町54	平之町107
46		徳田基	公証人	鹿児島島 公証人役場	公証人 山下町 17の12	照国町 11の23
47	Y	米倉秀雄	公立病院	鹿児島市立病院	副院長 加治屋町 20の17	吉野町 9688
48		柳田喜雄	機械工場	関南工業(株)	取締役社長 易居町2	西田町5